

CASBEE® 新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	新潟第一中学・高等学校建替工事 新潟県新潟市中央区関新3丁目3-1 第二種住居地域、防火地域の指定なし 学校, 2022年3月 竣工 25,068.59 m ² 6,315.32 m ² 13,663.47 m ² 地上7階、地下0階 RC造 実施設計段階評価 2018年5月30日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.0}{51.1} = 0.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	2.6		バリアフリー計画	3.0
			維持管理	2.5
			設備の更新性	2.4
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.0		耐震・免震・制震・制振	3.8
			信頼性	2.2
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物外皮の熱負荷抑制	5.0
			自然エネルギー利用	2.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	1.7		節水	1.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.0		生物環境の保全と創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	1.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

建築物を高層棟と低層棟に分け、高層棟を道路側からセットバックした位置に配置することで、圧迫感を軽減し、周囲の建物ボリュームとの調和を図りました。また、県道16号側の敷地境界線上に視線が抜ける高さを抑えた塀と低木を設けることで、圧迫感を軽減するとともに、植栽の修景を楽しめる計画としました。信濃川、低層の住宅街、県道16号などの周辺環境に調和しやすい水平ラインを基調とした外観デザインでまとめることで、対岸からの見え方など遠景にも配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟第一中学・高等学校建替工事	階数	地上7階、地下0階
建設地	新潟県新潟市中央区関新3丁目3-1	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、防火地域の指定なし	平均居住人員	1,130 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,700 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 竣工	評価の実施日	2018年5月30日
敷地面積	25,069 m ²	作成者	株式会社山下設計
建築面積	6,315 m ²	確認日	2018年6月5日
延床面積	13,663 m ²	確認者	新潟市



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.3

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・信濃川、低層の住宅街、県道16号などの周辺環境に調和しやすい水平ラインを基調とした外観デザインでまとめることで、対岸からの見え方など遠景に配慮した計画とします。 ・県道16号側の敷地境界線の上に視線が抜ける高さを抑えた塀と低木を設けることで、圧迫感を軽減するとともに、植		
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・南東面に面する室に庇を設けることで、室内環境に寄与する計画とします。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・壁・床等に汚れにくい仕上げを採用することで、維持管理しやすい運用計画とします。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・建物を高層と低層に分け、高層棟を道路側から離れた位置に配置することで、圧迫感を軽減し、周囲の建物ポ
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・教室を中廊下型に配置をし、建物の形状を整形することで、建物外皮の面積が小さくなるような計画としました。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・特になし。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される